

株主各位

2013 年度 定時株主総会へのご出席御礼

6月23日に開催を致しました「定時株主総会」には約100名、また「新本社ご案内会」には40名超のご来場を賜り、誠にありがとうございました。回を追うごとに、ご出席頂ける株主様が増加し、大いに嬉しく、心強く感じている次第です。今後も、総会を株主様と経営陣の対話の場と位置付け、オープンかつフランクに運営をしてまいりたく存じますので、引き続きご支援をお願い申し上げます。

さて、総会での不規則発言等による混乱では、ご心配をお掛けし、申し訳ございませんでした。橋本和夫氏(以下、橋本氏)へ退場命令を発するに至った経緯をご報告致します。

株主総会を控えた6月18日に、橋本氏から弊社へ電話があり、法務省や最高検など官公庁の4氏、新聞社の1氏に対して“橋本氏が国家権力の濫用を受けた”旨を弊社から電話連絡して欲しいと要請がありました。会社とは無関係な内容ですし、また特定株主へ便益を供することはできませんので、弊社は橋本氏へご要請をお受けできない旨をご返事致しました。

その後、橋本氏は弊社株主総会に出席し、議長不信任動議を提案しました。議長がその提案理由を問ったところ、橋本氏は“私の要請を断ったので、本多通信工業のコンプライアンスに疑義がある”という趣旨の発言をされました。議長は、動議の理由として不相応であるとして動議を取り上げず、議事を進行しようとしたところ、橋本氏は議長席に詰め寄り、議長の頭を軽く叩いた為、議長が退場を命じました。さらに、橋本氏は、退場命令を受けた後もこれに従わず、議長の胸を押したり、不規則発言を続けられましたので、係員により場外へ退出願った次第です。なお、弊社では、退場命令をお受けになった方へはお土産をお渡しできないこととしておりますので、そのままお帰り頂きました。

突然の混乱に戸惑い、驚かれた株主様もいらっしゃったことと存じますが、このような事象には毅然と接することがコンプライアンスの基本であると認識しておりますので、何卒ご容赦をお願い申し上げます。

2014年6月25日

本多通信工業株式会社

代表取締役社長

佐谷 紳一郎